平成22年度上期 離島対策等支援事業 実績報告

1. 上期実績の概要

- 離島対策支援事業については、年度計画167.1百万円に対し74.8百万円の実績となった。
- 出えん業務運営費については、年度計画115.1百万円に対し、57.5百万円の実績となった。
- 従って、出えん関連の費用総額は、132.2百万円となり、年度計画290.4百万円に対し45.5%の進捗率となった。

【平成22年度上期実績概要】

(単位:千円)

	計画			実績			進捗率
	当初計画	変更		第1四半期	第2四半期		
離島対策支援事業	167,096	163,445	3,651	74,752	43,764	30,987	44.7%
離島対策支援事業(予備費5%)	8,174	8,174	-	-	-	-	-
不法投棄等対策支援事業	-	-	-	-	-	-	-
出えん業務運営費	115,081	115,081	-	57,480	20,586	36,894	49.9%
合計	290,351	286,700	3,651	132,232	64,350	67,881	45.5%

2. 離島対策支援事業の概要

(別紙「平成22年度上期申請 市町村別明細」参照)

- 事業を計画した117市町村のうち、77市町村より16,350台の申請があり、74.8百万円の資金出えんを行った。
その内訳は、第1四半期が74市町村へ43.8百万円、第2四半期が60市町村へ31.0百万円となっている。
- 上期申請台数は、16,350台となり、前年同期に比べ+2,638台となった。
これは、エコカー補助金等により、副次的に離島での買換えが促進されたこと、加えて、市町村とともに育成して来た中核事業者が多く離島で機能し始めたことも要因として想定される。
申請台数が100台以上増加した市町村は14あり、その全てが大中規模離島であった。
そのうち、対馬市、+373台(前年同期比180.9%)、宮古島市、+367台(同比127.8%)、西之表市、+332台(同比249.6%)については、300台以上の増加となった。

【平成22年度上期離島対策支援事業出えん概要】

	要請			実績			進捗率
	当初要請	変更		第1四半期	第2四半期		
市町村数	117	117	12	77	74	60	
申請台数	34,761	33,980	781	16,350	9,314	7,036	47.0%
総事業費(千円)	208,872	204,308	4,564	93,440	54,705	38,734	44.7%
出えん金額(千円)	167,096	163,445	3,651	74,752	43,764	30,987	44.7%